

吹田操車場跡地のまちづくりの現状

吹田市

吹田操車場の主な経過

○大正12年 吹田操車場 操業開始

約60年間

東洋一の規模を誇る物流拠点



○昭和59年 機能を廃止。信号場となる。 吹田操車場操業当時

○昭和62年 旧国鉄分割・民営化。

梅田貨物駅機能の全面移転計画が明らかに。

○平成11年 梅田貨物駅の吹田操車場跡地への移転計画
に関する基本協定書の締結

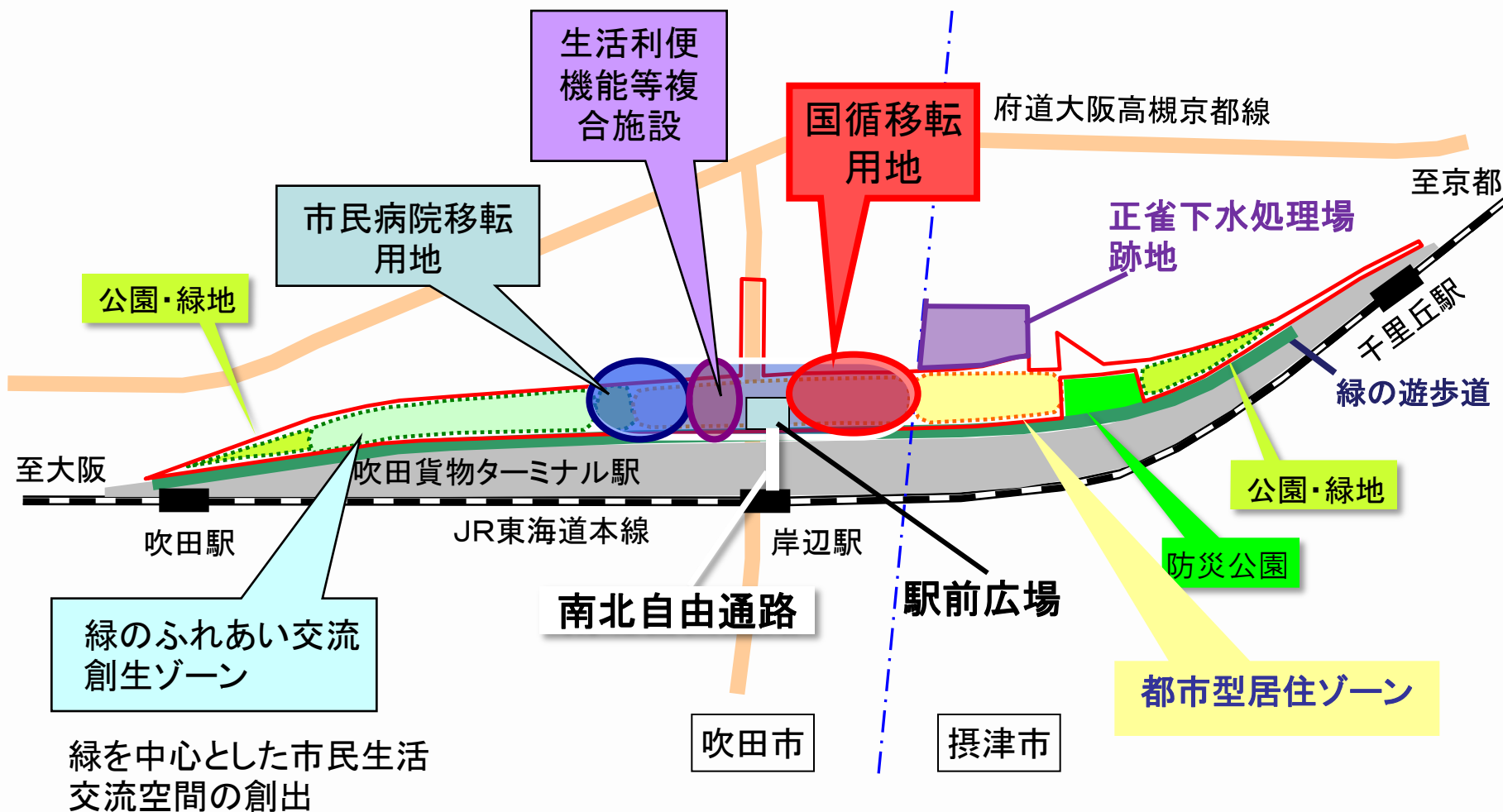
(梅田貨物駅機能の半分を吹田操車場跡地に)

○平成25年 吹田貨物ターミナル駅開業



吹田貨物ターミナル駅

吹田操車場跡地の全体ゾーニング図



JR岸辺駅橋上駅舎・南北自由通路・緑の遊歩道

JR岸辺駅橋上駅舎（北側）



JR岸辺駅橋上駅舎（南側）



■施設概要

【岸辺駅橋上駅舎】

バリアフリー化

エレベーター（貫通型 11人乗り）2基

エスカレーター 4基

【南北自由通路】

延長 約176m 有効幅員 6m

エレベーター（貫通型 22人乗り）2基

エスカレーター 4基

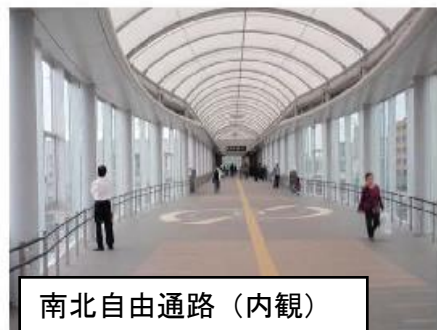
【緑の遊歩道】

延長 約3Km（吹田市～摂津市）

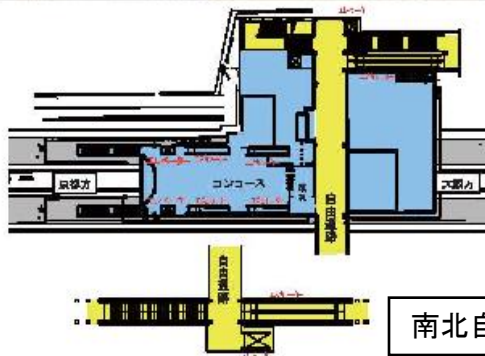
幅員 12m（まちづくり区域内）

施行者

鉄道建設・運輸施設整備支援機構



南北自由通路（内観）



南北自由通路・橋上駅（平面）

緑の遊歩道



中心街区の構成図～医療クラスター形成に向けて～

関西イノベーション国際戦略総合
特区指定区域への編入協議中

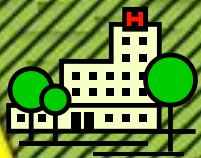
正雀下水処理場跡地

大学・医療系企業の進出用地
(共同研究拠点)

都市型居住ゾーン

4街区

市立吹田
市民病院



生活利便施設等
複合施設

(想定)

- ・商業系施設
- ・調剤薬局 など

国立循環器病研究センター

- ・病院
- ・研究所
- ・研究基盤開発センター



5街区

駅前広場

JR 岸辺駅